

2021
22nd
Nagasaki
Cityscape
Awards

あしたの まちは 私がつくる

2021 第22回 長崎市都市景観賞作品集



ごあいさつ



長崎市都市景観賞表彰実行委員会 委員長
田上 富久

2021 第 22 回長崎市都市景観賞ならびに都市景観賞奨励賞を受賞された皆様に心からお祝いを申し上げます。
長崎市都市景観賞は、長崎の歴史的背景と地理的特色を生かし、周田の町並みをはじめ、雰囲気にと調和した建築物や優れた都市景観の形成に寄与していると認められるものを選定し、その所有者や設計者、施工者の皆様を表彰することにより、建築主や民間企業の都市景観に対する関心を高め、市民の皆様にとってより一層快適な美しい街並みを守り育てていくことを目的として、昭和 62 年度に創設されました。
今回の都市景観賞は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、作品募集のイベント等が開催しにくい状況ではありましたが、新たな試みとして、公式ウェブサイトによる市民投票を行い、応募総数は 189 件、市民投票は過去最高となる 902 件となりました。御協力いただいた市民の皆様により感謝申し上げます。
今回、都市景観賞及び奨励賞に選ばれた作品は、どれも長崎の景観形成に寄与しており、これらの作品が、まちの魅力や価値をさらに高めるものになると確信しております。
また前回、都市景観賞を受賞した「出島表門橋・出島表門橋公園」を含む「出島地区」が、歴史の町と現代をつなげて質の高い空間と景観を生み出し、歴史都市長崎の中心部に過去と現代が対話する素晴らしい都市景観を創出したとして評価され、長崎県内初の都市景観大賞（国土交通大臣賞：都市空間部門）を受賞しました。長崎市の誇る景観が、公に認められる結果となり、大変うれしく思います。
長崎市では、現在 100 年に一度と言われるまちづくりが進んでおり、今後も続々と新たなランドマークとなる建物や施設が生まれてきます。こうした建物などについてもより良いデザインとなるよう所有者や設計者の皆様と話し合いを重ねています。これまでよりも居心地の良い都市空間が、一か所でも多く生まれるよう、これからも企業並びに市民の皆様のご理解と御協力をお願いいたします。
最後になりますが、長崎市都市景観賞が長崎の都市文化向上のための一翼を担うことを祈念しますとともに、本賞の実施にあたり、御協賛、御後援をいただきました企業・団体の皆様、選考委員の皆様、関係各位の皆様の御尽力に、心より厚く感謝申し上げます。



長崎商工会議所 会頭
宮脇 雅俊

「2021 第 22 回長崎市都市景観賞」を受賞されました皆様に心よりお祝い申し上げます。
長崎市都市景観賞は、本所青年部が昭和 60 年に原案となる「長崎市建築文化賞」を企画立案したことをきっかけとして、官民が一体となり昭和 63 年 3 月に「長崎市都市景観建築賞」を実施して以来、今回で 22 回目を迎えました。
今回受賞された作品は、国内外より多くの方をお迎えする交流都市にふさわしい建物や、地域の人々の生活を守り支える拠点となる建物、町屋や料亭など長崎の人々の暮らしや歴史・文化に根付いた建物、坂のまちらしい特色ある取組みなど、長崎という都市の多様性を象徴するような、バラエティに富んだものとなりました。
本事業は、優れた景観形成に寄与することはもちろん、長崎の観光資源の掘り起こしや、これまでに培われた歴史・文化など長崎のまちの魅力を改めて見直すことにより、シビックプライドを醸成するとともに調和のとれたまちづくりを促進するうえで重要な役割を担っております。
現在、長崎市は 100 年に一度ともいわれるまちづくりの変革期にあり、新しいまちに向けて次々と大型プロジェクトが進んでいるところです。そして、いよいよ本年 9 月には長年の悲願であった西九州新幹線が開業します。新幹線開業を契機として、これまで以上に多くの人々が長崎を訪れることとなり、交流人口の拡大により賑わいの創出を図る千載一遇の機会となります。
長崎のまちの中には、この都市景観賞の受賞作品をはじめ、他の都市にはない数多くの魅力ある建物や名所がちりばめられています。本所としても、特色ある長崎のまちをかたち作るこれらの資源を最大限に生かすとともに、効果的な情報発信を行うことで、交流人口の増加と観光消費の拡大に繋げていきたいと考えております。
今後も、長崎市都市景観賞が、まちの大きな変革の中にあって、まちづくりや景観に対する理解や関心を高め、長崎に住む人々の暮らしを彩り、長崎を訪れる人々の心を満たす役目を果たすことを期待しております。
最後になりましたが、本事業の実施にあたってご尽力いただきました関係の皆様、ご協賛いただいた皆様、選考委員の皆様方へ御礼を申し上げて、私の挨拶とさせていただきます。

選考を終えて



長崎市都市景観賞選考委員会 座長

宮原 和明

「2021 第22回 長崎市都市景観賞」を受賞された皆さまに心からお祝い申し上げます。

1988年、長崎市の魅力ある都市景観賞を守り育てるために「長崎市都市景観賞条例」制定。これに先立ち1987年、将来の都市景観のため良質な建築を奨励する「長崎市都市景観建築賞（現都市景観賞）」創設。2005年には都市・農山漁村等における良好な景観形成を図る「景観法」施行。市域は2006年までに野母崎・三和・香焼・高島・伊王島・外海・近海の7カ町が合併、外海（そとうみ）や大村湾を望む歴史と自然豊かな地域へと広がりました。

今、長崎市市街地中心部は、庁舎などの公共施設、オフィスビル、総合病院、新長崎駅舎など新築ラッシュで他の建築物を意識配慮したデザインや長崎湾へのビスタ、稲佐山や浦上川からの水景、夜景など都市景観を意識した良質の建築が増えています。これは長崎湾アーバンデザインの設計作法が設計者や施工関係者に意識され成熟してきたことを示しています。全ての関係者の皆さまに敬意とお礼を申し上げます。今回の長崎市都市景観賞もコロナ禍にもかかわらず多数の応募があり、その中から以下の9点が高く評価され8件が都市景観賞、1件が奨励賞を受賞されました。詳しくは選評に譲るとして、大きな建物部門「日本赤十字社長崎原爆病院」は、浦上川水景と夜景のランドマーク性が素晴らしいこと。「重工記念長崎病院」は、歴史ある工場レンガ塀を意識した外観が街並み景観への貢献。「駅西口交流施設（ヒルトン長崎、出島メッセ長崎）」は新長崎駅浦上川西口の賑わい創出と質の高い景観と公共空間の佇まい。またヒルトン長崎の夜景は、浦上川水景のランドマークとしても素晴らしい。小さな建物部門「森の魔女カフェ」は、棚田風景と大村湾を望む眺望を生かした安らぎのレストラン。「長崎大学医学部ゲストハウス」は、コンパクトで質の高い留学生のための施設。歴史のある部門「料亭橋本」は、料亭文化をささえる庭園と建築の素晴らしさ。長崎の歴史ある料亭では最後の受賞で遅きに失した感があり、過去受賞した「富貴楼」が失われたことは残念です。市民が料亭文化を支えるんだとの覚悟も必要であると思います。公共施設部門「長崎県庁」は、すり鉢状の街のへそのような場所に、草原の丘のような公共建築を見事に設計されました。テーマ部門「めがね橋 LOGIC」は、歴史ある町屋が残る中通り界隈の再生でSDGsの「住み続けられる街づくり」でもある。「さかのうえん」は、高齢化社会と人口減で斜面地空き家の空家を、若者たちがかかわって市民農園とすることで地域を元気にする課題解決型の好事例です。最後に都市景観賞の歴史を振り返りますと、感慨深いものがあります。特に今回選考を通して気付かされた事は、斜面都市ながさきの歴史や街並み、夜景、水景、景観を意識し大事に考えながらつくり手の設計者達がかかわり、良質の街並み景観概念について多くの関係者、市民を触発してくれている事です。

最後に今回の選考委員会委員にお礼を申し上げますとともに、今後さらにこの事業が発展することを願っております。

[選考委員会]

座長

宮原 和明

長崎総合科学大学 名誉教授 | 建築 |

委員

一丸 康貴

公益社団法人 日本建築家協会九州支部長崎地域会 会員 | 建築 |

泉 直幸

公益社団法人 長崎県宅地建物取引業協会長崎支部 副支部長 | 建設 |

柴田 正明

長崎電気工事業協同組合 理事 | 設備 |

青木 由孝

長崎県屋外広告美術協同組合 副理事長 | 屋外広告 |

上山 信宏

一般社団法人 長崎県建築士会長崎支部 副支部長 | 建築 |

安部 清美

一般社団法人 長崎県測量設計コンサルタンツ協会 会長 | 測量設計 |

石橋 知也

長崎大学大学院工学研究科 准教授 | 景観 |

五島 聖子

長崎大学大学院 水産・環境科学総合研究科 環境科学領域 教授 | 造園 |

村田 明久

長崎総合科学大学 客員教授 | 建築 |

山崎 加代子

design hehe 代表 | デザイン |



大きな建物部門

日本赤十字社 長崎原爆病院



[選考理由 | 上山 信宏]

旧日赤長崎原爆病院の建替えに伴い、最新設備の導入とともにさらに市民への親しみ易さを追求した、新しい日本赤十字社長崎原爆病院が誕生した。街全体の景観を損なわない仕事があちこちでみられる。浦上川に映える白亜の15階建の建物、4階までの事務・外来診療部門、5階からの手術・管理・入院部門となっている。4階までの下層部と5階からの上層部の表情の変化が面白い。また、上層部各室には、南面からの光を取り入れやすく角度を付けた壁が配置され美しい外観となっており、駐車スペースも十分に設置され外観に溶け込んでいる。大きな赤十字のマークが信頼と安心の印となるべく輝いており、本受賞に値するものと思う。また、この建物を末永く親しんでいこうと思わせるに十分な作品であり、屋上からの稲佐山の眺めは格別だろう。

所在地/長崎市茂里町3-15
完成年/2020年
構造/鉄骨造
階数/地上15階

[所有者]

日本赤十字社 長崎原爆病院

[設計者]

株式会社 日建設計

[施工者]

大成建設 株式会社





大きな建物部門
重工記念長崎病院



[選考理由 | 一丸 康貴]

稲佐山の麓、長崎港を一望できる敷地であり、周辺には明治時代のレンガ塀や造船所等の工場群が立ち並び、長崎らしい土地である。外観低層部は周辺のレンガ塀とまち並みを形成するレンガ壁とし、バランスよく配置されたスリット窓が建物に軽やかさを与え、セットバックされた上層部は白色を基調とし、敷地周辺の工場群の中に明るさを与えている。設備機器等についても十分配慮され、メインとなる港側の外壁には露出しないよう計画されている。また対岸からは、稲佐山の麓、工場群の中に白く浮かび上がる客船のような趣があり、長崎の港町らしさが十分に感じられる建築である。新型コロナウイルスの影響で内部を見学する事は出来なかったが、内部にも長崎らしさが随所に取り入れられ、長崎らしさが内外に表現されており、周辺の景観形成に寄与していることに評価を得たものである。

所在地／長崎市丸尾町 6-17
完成年／2020年
構造／鉄筋コンクリート造
階数／地上6階

[所有者]

医療法人 重工記念長崎病院

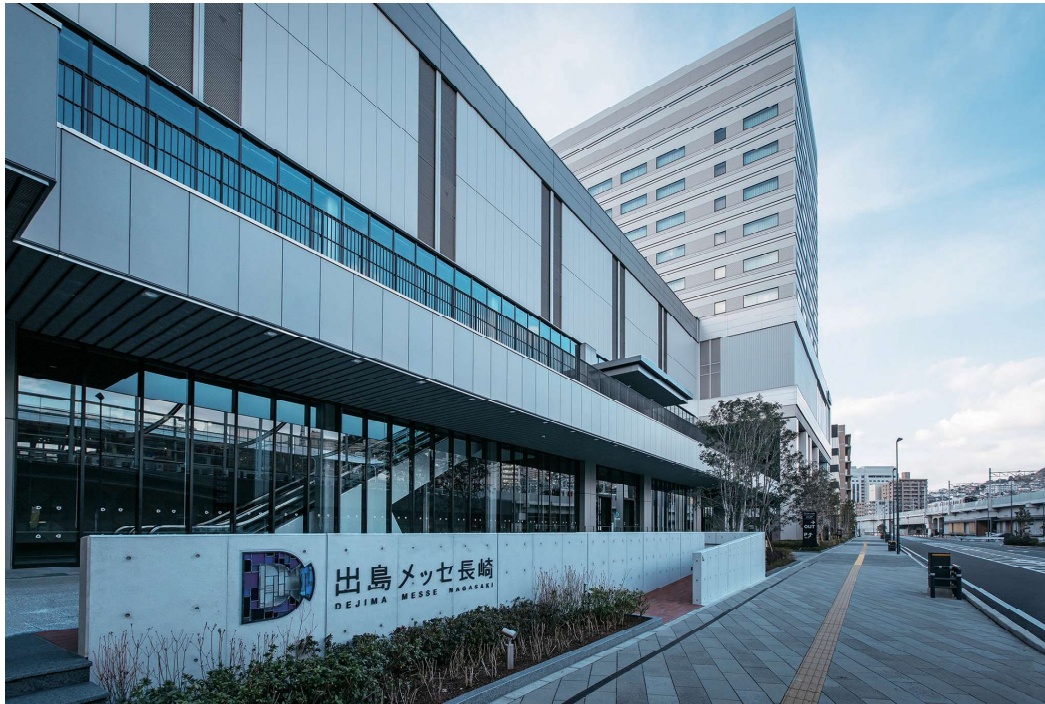
[設計者・施工者]

大成建設 株式会社





大きな建物部門
駅西口交流施設 (ヒルトン長崎、出島メッセ長崎)



【選考理由 | 宮原 和明】

終着駅としての新 JR 高架長崎駅西側に建つ「出島メッセ長崎」と「ヒルトン長崎」は、降り立った駅舎から稲佐山方面への眺望を確保しつつ、のびやかな水平ラインの低層メッセの建物と北側多層階ホテルが一体となり上質の都市景観を創出していることが評価された。更に新幹線開通後は浦上川西口玄関にふさわしい広場や賑わいづくりに貢献することも期待されている。一方、浦上川や稲佐山に面した西側エレベーションは、長崎らしい水景と周辺景観に溶け込んだ佇まいである。両施設が多層的に繋がることで全体の回遊性が高まり、各所には来館者や市民の為の憩いの場がある。稲佐山を臨むプロムナード、浦上川の流れに呼応するリバーサイドデッキ、立体動線を可能にするペDESTリアンデッキ、連続した植栽、エントランス広場など豊かな公共空間が創出されている。またホテルの外観はメッセと同じ外壁材、色は同系色を採用し、高層部の客室はフロア毎に見切りを入れ、各階のボリュームを積んだように見せることで出島メッセの水平ラインとの調和が図られている。(参考文献：近代建築 3月号他)

所在地／長崎市尾上町 4-1、4-2
完成年／2021年
構造／鉄骨造
階数／【ヒルトン長崎】地上11階
【出島メッセ長崎】地上4階、地下1階

【所有者】

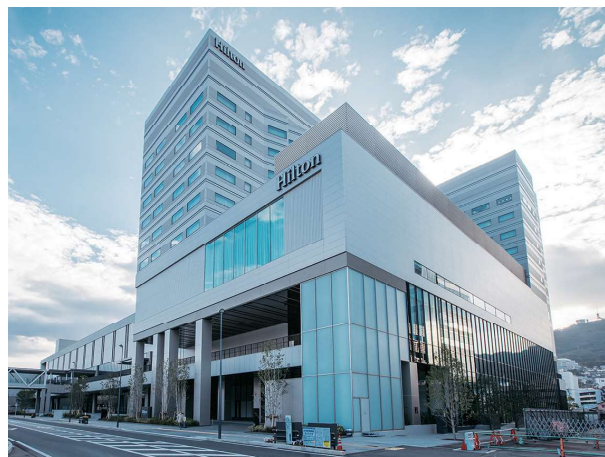
【ヒルトン長崎】M&H 長崎ホテル合同会社
【出島メッセ長崎】長崎市

【設計者】

【ヒルトン長崎】清水建設 株式会社
【出島メッセ長崎】株式会社 日建設計

【施工者】

【ヒルトン長崎】清水建設 株式会社
【出島メッセ長崎】戸田建設 株式会社
株式会社 上滝
株式会社 谷川建設
株式会社 森美工務店





小さな建物部門
森の魔女カフェ

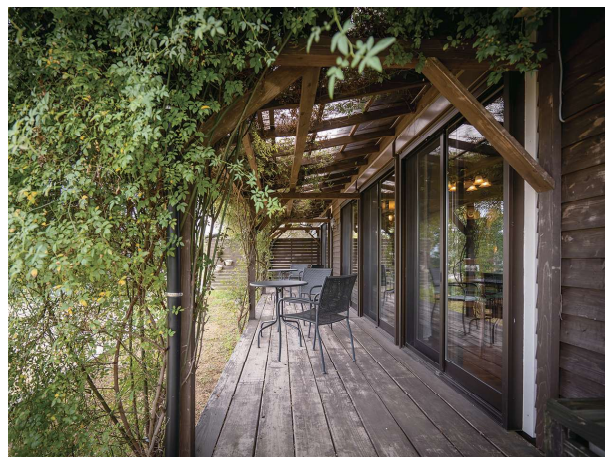


[選考理由 | 山崎 加代子]

長崎市内から時津を過ぎさらに県民の森へ車を走らせると、突然目の前に視界が広がる所がある。大村湾とその周辺の街を臨む眺望はなんとも気持ちが良い。森や田んぼに囲まれたカントリー風カフェは青と緑の風景にすっぽり溶け込み、4本のモッコウバラの蔭が絡まるバルコニーには海からの心地よい風が通り抜ける。杉材の外壁や手すりや柱は、オープンから6年の間に落ち着いた風合いとなり、手で触れると真新しい建物にはないあたたかさが伝わってくる。窓から室内を覗くと冬用の薪ストーブや珪藻土を使った塗壁が見える。自分たちの手で作った無農薬野菜やお米を使ったメニューも女性に人気で、オーナー曰く、魔女も棲むような癒やしの隠れ家で過ごしてほしいと。市内の中心部ではなかなか味わえないぜいたくな環境。四季折々に楽しめる表情ゆたかな自然と一体となったカフェが、今回の高評価につながった。天気の良い日にゆっくり散策したいスポットのひとつである。

所在地/長崎市西海町 138-2
完成年/2016年
構造/木造
階数/地上1階

[所有者]
森の魔女カフェ
[設計者]
堀本設計
[施工者]
松山建築





歴史のある部門
料亭橋本



[選考理由 | 村田 明久]

料亭橋本は、中島川上流域にあたる中川の、明治中期からカルルスと呼ばれ賑わった桜見の景勝地にある。建物は通り沿いと庭境に立ち、新旧二つのゾーンに大きく分かれ、建物周囲に桜の庭、池の庭、築地堀の三つの庭園を印象的に配置している。旧建物は戦時中の昭和17年に建築、旅館として発足し、戦後は進駐軍が接収したが、当初のたたずまいを残し料亭を営む。戦後に土地を広げ、玄関部分を雁行形に増築し、前の庭園にカルルス桜三本を残し通りや橋からも楽しめる。旧建物は、かぎ型の純和風建築と生垣に囲われた池水・内庭が一体的に構成され、大小各室からの趣向を凝らした眺めが味わえる。旧玄関から池への窓、池に張り出した角部屋から見る水面の鯉、二階大部屋からの池と庭園の眺め、庭に出ると二階建てが池水に映えるなど、近代和風の料亭建築として池・庭園の自然と建築との関係を取り入れた空間デザインが優れ、長崎に少なくなった料亭建築の雰囲気は今に伝えて貴重である。

所在地 / 長崎市の中川1丁目4-5
構造 / 木造
階数 / 地上2階

[所有者]
株式会社 橋本





公共施設部門
長崎県庁



[選考理由 | 宮原 和明]

県民に開かれたシティホールの設計は、草原の丘のような建築と回遊性があり見事である。庁舎は8階建の行政棟と5階建の議会棟で構成。海辺のオープンスペースや整備された緑地と調和するように、低層かつ共用エリアを広くとった構造となっている。特に庁舎と隣接する防災緑地、駐車場棟、警察棟は合わせて整備され、南東側からのアプローチは、一押しのテラス状外観で季節を楽しみながら1・3階の庁舎へ入館できる。エントランスホールは、大規模な吹き抜け空間と複雑な回廊がつくる異空間。1階の会議室・協働スペースは土日も県民に開放されており、植栽された3階のテラスや8階の展望室からのロケーション等、設計者の意図がよく伝わってくる。新幹線が乗り入れる新長崎駅からの長崎港眺望の配慮や部署間のコラボ・協働が可能なメガフロア・オフィスデザイン、脱炭素社会へのZEBリーディに準ずる40%エネルギー減、県産木材の活用等、持続可能な庁舎建築の先駆けとして市民から高く評価された。(参考文献: GA JAPAN 149 他)

所在地/長崎市尾上町3-1
完成年/2017年
構造/鉄筋コンクリート造
階数/地上8階

[所有者]

長崎県

[設計者]

株式会社 日建設計

株式会社 松林建築設計事務所

株式会社 池田設計

[施工者]

鹿島建設 株式会社

株式会社 上滝

株式会社 堀内組

株式会社 小山建設

松崎建設工業 有限会社





テーマ部門
町家のリノベーション賞

めがね橋 LOGIC



[選考理由 | 山崎 加代子]

長崎市内の中心を流れる中島川に架かるおなじみの眼鏡橋。そこから寺町方面へまっすぐ歩いていくと中通り商店街の角地に出る。昔ながらの「町家」をリノベして造られた、まさに長崎サイズのコンパクトな複合エリアだ。菓子・軽食・花・雑貨のショップ・カフェ・バー・サロン・レンタルルーム・宿などを営む11軒は、全て細い路地、いわゆる小路（しゅうじ）で繋がっている。看板をかかげた表通りの外壁は杉材の尾垂れ板。昔の天井や欄間をそのまま残した2階を見上げると連子（れんじ）と呼ばれる手すりが組まれ、昔はここで夕涼みしながら道を行き交う人を眺めていたという。中通りの道幅は決して広くない。それがかえって近所との関係を密にし、聞こえてくる生活音や話し声が賑わいとなる。磨屋町はシュガーロードとも馴染みが深く、この界隈も和と洋が一体となり町を盛り上げている。開業して一年数ヶ月が経ち、これから時間と共に「町家」の佇まいも少しずつ中通りに馴染んでいくのだろう。

所在地／長崎市古川町 8-5
完成年／2020年
構造／木造、CB造
階数／地上2階
中島川・寺町地区景観形成重点地区

[所有者]
めがね橋 LOGIC
[設計者]
シーブ建築設計事務所
[施工者]
有限会社 福井商事





テーマ部門
斜面都市のリ・デザイン賞

さかのうえん



[選考理由 | 石橋 知也]

「さかのうえん」は、斜面市街地（＝さか）に発生した空き地を有効な資源と捉え、畑に戻す（＝農園）取り組みの名称である。東山手あるいは唐人屋敷地区からほど近い、斜面の中腹に立地する。今回の審査過程では、次の点が主に評価された。長崎市の斜面は段々畑を開拓したものであるという履歴を踏まえ、畑に戻す必然性が明確である点。単なる「空き地」の活用にとどまらず、持続可能な活動・参加の仕組みが巧妙である点。若者を中心に農園の実験的運営がなされ、結果として新たな原風景が創出されている点。農園の整備は最低限とし、少しずつ手入れしながら運営している点。しばしば景観とは、生活の記録そのものであり、人と自然環境とが長年密接で良好な関係を結んできた履歴の証しであると言われる。すなわち上述の諸点は、景観の本質的価値に接近しようとする試みと解される。まさにこのような活動景を取り上げ、議論の俎上に載せていくことこそ、本選考委員会の担う重要な役割の一側面ではなかろうか。人々の活動が景観を生み、その過程を魅せる、地道な取り組みにエールを送りたい。

所在地／長崎市中新区内

[代表者]

中新町南部自治会
中新町東部自治会
長崎都市・景観研究所





小さな建物部門
長崎大学医学部ゲストハウス

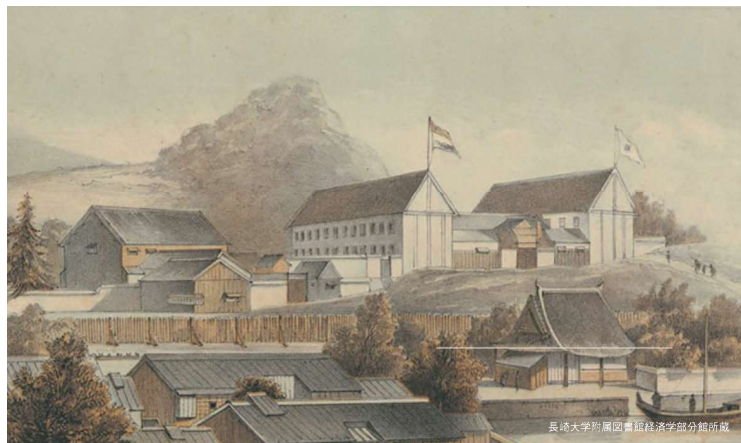


[選考理由 | 五島 聖子]

長崎大学医学部創立 160 周年を記念して建設された、留学生向けのゲストハウスである。日本初の西洋式近代病院であった小島養生所の切妻屋根のシルエットを継承している。小島養生所は、日本初の系統的な近代西洋医学の講義を長崎奉行所西役所において開始したポンペ・ファン・メーデルフォールトが 1861 年に小島佐古の丘に設立した病院である。ここには切妻屋根の 2 棟の本館と医学所、分析研究所が設立され、長崎大学医学部の前身となったが、現在は仁田佐古小学校の新校舎が建設され、遺跡は完全に建物の下に埋没している。小島養生所はもともと木造建築であったが、ここでは白一色の鉄筋コンクリート造である。エントランスホールは壁をガラスとした明るいラウンジとなり、さまざまな学際的交流を促進する空間となっている。ポンペが伝えた西洋医学を受け継いだ長崎大学医学部の中で、長崎が誇るべき「近代医学」に関する失われた歴史文化遺産の面影を留める試みは、適切かつ重要と考えられる。

所在地 / 長崎市坂本 1 丁目 12-4
(坂本地区キャンパス内)
完成年 / 2018 年
構造 / 鉄骨造
階数 / 地上 2 階

[所有者]
国立大学法人 長崎大学
[設計者]
株式会社 INTERMEDIA
[施工者]
あけぼの建設 株式会社



長崎市都市景観賞年表 | 受賞作品 | 受賞作品一覧表 | MAP



長崎市都市景観賞年表

回	年度	賞名	実行委員長	選考委員会座長	募集期間	応募総数	案件数	選考対象数	景観賞	奨励賞	表彰式
1	1987	都市景観建築賞	本島 等	石野 治	昭和 62 年 10月 15 日～11月 30 日	139	88	73	5	—	昭和 63 年 3 月 4 日 (金) 長崎商工会館 2 階ホール
2	1989	都市景観建築賞	本島 等	石野 治	平成元年 9月 1 日～10月 31 日	210	102	66	5	—	平成 2 年 3 月 16 日 (土) 長崎商工会館 2 階ホール
3	1991	都市景観賞	本島 等	石野 治	平成 3 年 5月 15 日～6月 29 日	170	99	69	2	3	平成 3 年 10 月 4 日 (日) 長崎商工会館 2 階ホール
4	1992	都市景観賞	本島 等	石野 治	平成 4 年 10月 1 日～11月 17 日	77	40	35	3	1	平成 5 年 2 月 27 日 (土) 長崎商工会館 2 階ホール
5	1993	都市景観賞	本島 等	石野 治	平成 5 年 10月 1 日～10月 20 日	64	42	36	3	1	平成 6 年 2 月 23 日 (水) 長崎商工会館 2 階ホール
6	1994	都市景観賞	本島 等	宮川 密義	平成 6 年 9月 1 日～9月 20 日	63	42	29	0	2	平成 7 年 3 月 1 日 (水) 長崎商工会館 2 階ホール
7	1995	都市景観賞	伊藤 一長	宮川 密義	平成 7 年 9月 14 日～10月 23 日	106	52	40	3	1	平成 8 年 3 月 1 日 (金) 長崎商工会館 2 階ホール
8	1996	都市景観賞	伊藤 一長	宮川 密義	平成 8 年 9月 17 日～10月 31 日	69	54	43	3	2	平成 9 年 3 月 28 日 (金) 長崎商工会館 2 階ホール
9	1997	都市景観賞	伊藤 一長	宮川 密義	平成 9 年 9月 16 日～10月 31 日	92	58	41	3	2	平成 10 年 3 月 31 日 (火) 長崎商工会館 2 階ホール
10	1998	都市景観賞	伊藤 一長	宮川 密義	平成 10 年 7月 1 日～8月 31 日	259	146	95	2	5	平成 11 年 1 月 20 日 (水) 長崎商工会館 2 階ホール
11	1999	都市景観賞	伊藤 一長	宮川 密義	平成 11 年 8月 1 日～9月 30 日	167	128	96	2	1	平成 12 年 1 月 26 日 (水) 長崎商工会館 2 階ホール
12	2001	都市景観賞	伊藤 一長	宮川 密義	平成 13 年 8月 1 日～9月 28 日	268	121	100	3	3	平成 14 年 1 月 29 日 (火) 長崎商工会館 2 階ホール
13	2003	都市景観賞	伊藤 一長	宮原 和明	平成 15 年 8月 1 日～9月 30 日	170	50	50	3	2	平成 16 年 1 月 30 日 (金) 長崎商工会館 2 階ホール
14	2005	都市景観賞	伊藤 一長	宮原 和明	平成 17 年 8月 1 日～9月 30 日	134	80	58	3	3	平成 18 年 2 月 10 日 (金) 長崎商工会館 2 階ホール
15	2007	都市景観賞	田上 富久	岡林 敏孝	平成 19 年 9月 1 日～10月 31 日	138	95	69	4	0	平成 20 年 3 月 19 日 (水) 長崎県美術館ホール
16	2009	都市景観賞	田上 富久	岡林 敏孝	平成 21 年 8月 3 日～9月 30 日	382	181	147	4	1	平成 22 年 2 月 5 日 (金) 長崎ブリックホール国際会議場
17	2011	都市景観賞	田上 富久	宮原 和明	平成 23 年 8月 1 日～9月 15 日	276	180	168	3	3	平成 24 年 2 月 14 日 (土・祝) 長崎大学中部講堂
18	2013	都市景観賞	田上 富久	宮原 和明	平成 25 年 8月 15 日～9月 30 日	186	116	109	3	2	平成 26 年 2 月 15 日 (土) 長崎県美術館ホール
19	2015	都市景観賞	田上 富久	宮原 和明	平成 27 年 9月 1 日～10月 16 日	263	221	173	6	4	平成 28 年 2 月 14 日 (日) 長崎大学医学部良順会館
20	2017	都市景観賞	田上 富久	宮原 和明	平成 29 年 9月 1 日～10月 16 日	376	245	216	4	5	平成 30 年 2 月 18 日 (日) 長崎商工会館 2 階ホール
21	2019	都市景観賞	田上 富久	宮原 和明	令和元年 8月 16 日～9月 30 日	310	160	152	5	6	令和 2 年 10 月 16 日 (金) 長崎商工会館 2 階ホール
22	2021	都市景観賞	田上 富久	宮原 和明	令和 3 年 10月 25 日～11月 30 日	189	107	97	8	1	令和 4 年 3 月 18 日 (金) 長崎商工会館 2 階ホール
合計						4108	2407	1962	77	48	

第1回 → 第21回 長崎都市景観賞受賞作品



1987年 活水女子大学・短期大学 音楽館・2号館



1987年 (旧)カロムビル



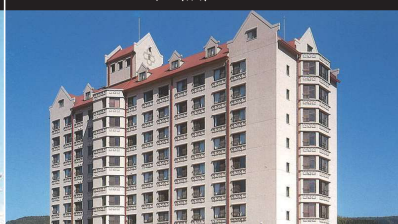
1987年 フォーレ三原台



1987年 松翁軒



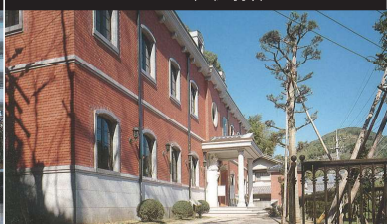
1987年 中華門



1989年 活水学院楠光寮



1989年 小ヶ倉公営住宅



1989年 シーボルト記念館



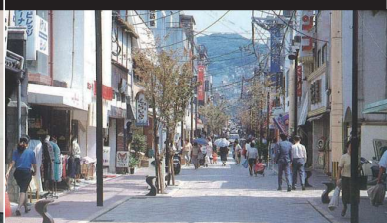
1989年 蜷茶屋から新大工までの電車通り・電気軌道中央柱



1989年 山里小学校



1991年 (旧)川口鼈甲店



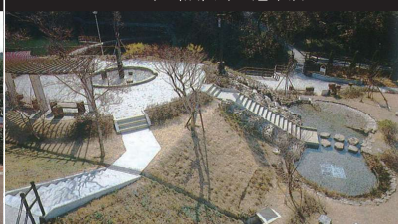
1991年 シーボルト通り



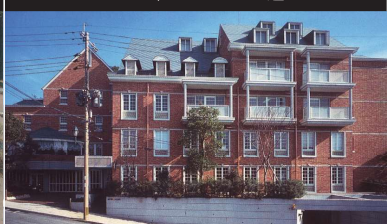
1992年 海星修道院・海星学園図書館



1992年 (旧) 矢上小学校現川分校



1992年 小ヶ倉水園 (小ヶ倉浄水場内)



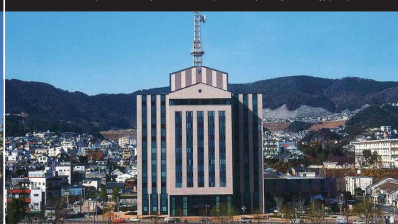
1993年 (旧) 金子建設本社ビル



1993年 湊公園



1993年 県営大橋団地・市営若葉団地



1995年 長崎電気ビル



1995年 常岡歯科診療所



1995年 龍馬のぶーつ



1996年 三宅脳神経外科医院



1996年 岩永梅寿軒



1996年 販町パーキングセンター



1997年 長崎市科学館



1997年 深堀の石塀群



1997年 宝製網



1998年 福砂屋本店



1998年 (旧) 児童養護施設マリア園



1999年 長崎平和記念教会



1999年 (旧) 料亭 富貴樓



2001年 小野原本店



2001年 長崎大学経済学部瓊林会館



2001年 どんどん坂



2003年 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館



2003年 長崎総合科学大学人間環境学部棟



2003年 福砂屋松が枝店



2005年 長崎県美術館



2005年 ビストロ・ピエ・ド・ポー



2005年 (旧) 増田邸



2007年 親和銀行大波止支店



2007年 BAR 猪ノ口屋



2007年 文明堂総本店



2007年 寺町通り



2009年 長崎市立図書館



2009年 長崎大学医学部良順会館



2009年 料亭 一力



2009年 大中尾棚田



2011年 長崎港松が枝国際ターミナルビル



2011年 三菱重工業長崎造船史料館



2011年 古賀植木の里



2013年 ANAテレマート長崎支店



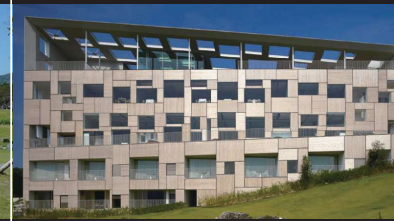
2013年 占勝閣



2013年 料亭 青柳



2013年 長崎水辺の森公園



2015年 ガーデンテラス長崎ホテル&リゾート



2015年 野島歯科醫院



2015年 鎮西大社 諏訪神社



2015年 女神大橋



2015年 つりがね堂薬局サイン



2015年 浦上天主堂再現プロジェクト



2017年 済生会長崎病院



2017年 あたご保育園



2017年 カトリック黒崎教会



2017年 十八銀行本店



2019年 Nagasaki Job Port



2019年 若宮稲荷神社



2019年 出島表門橋・出島表門橋公園



2019年 HafH Nagasaki SAI

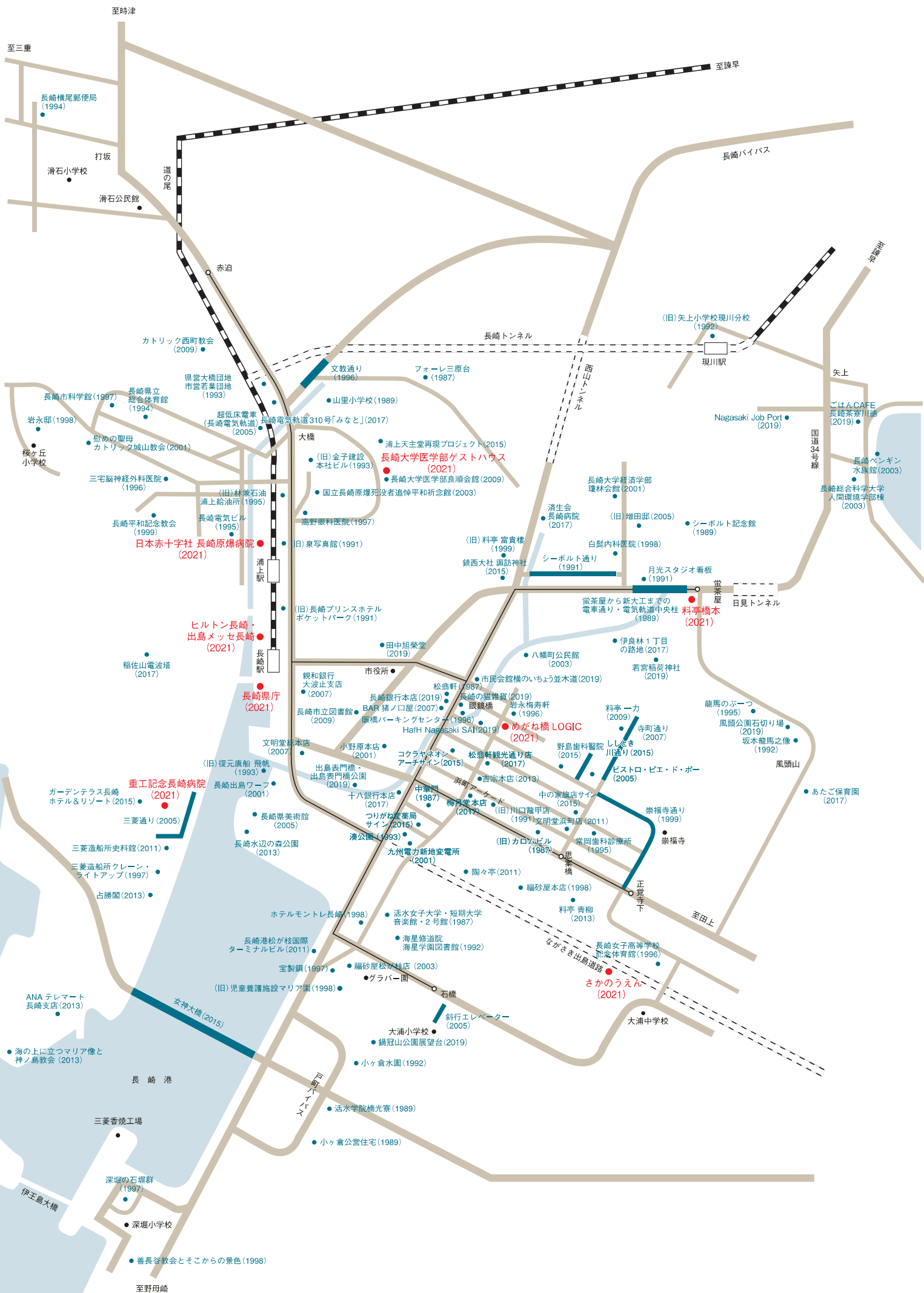


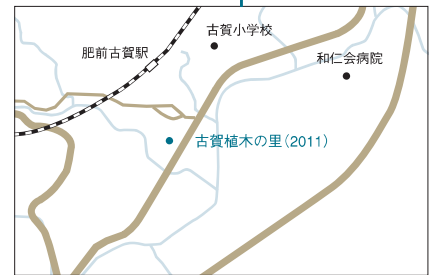
2019年 風頭公園石切り場

第1回→第21回 長崎都市景観賞受賞作品一覧表

年度	種別	作品名	所在地
1987 第1回 昭和62年度	都市景観建築賞	活水女子大学・短期大学 音楽館・2号館	東山手町1番50号
		(旧) カロムビル	浜町3番19号
		フォーレ三原台	三原2丁目24番1号
		松翁軒	魚の町3番19号
		中華門	新地町
1989 第2回 平成元年度	都市景観建築賞	活水学院楠光寮	新戸町3丁目31番24号
		小ヶ倉公営住宅	ダイヤランド4丁目9番・10番
		シーボルト記念館	鳴滝2丁目7番40号
		蛍茶屋から新大工までの電車通り・電気軌道中央柱	馬町から中川2丁目
		山里小学校	橋口町20番56号
1991 第3回 平成3年度	都市景観賞	(旧) 川口艶甲店	浜町7番13号
		シーボルト通り	新大工町
	奨励賞	(旧) 長崎プリンスホテルポケットパーク	宝町2番26号
		(旧) 泉写真館	川口町6番24号
		月光スタジオ看板	桜馬場1丁目2番28号
1992 第4回 平成4年度	都市景観賞	海星修道院・海星学園図書館	東山手町1番2号
		(旧) 矢上小学校現川分校	現川町1912番地
		小ヶ倉水園(小ヶ倉浄水場内)	上戸町4丁目8番1号
	奨励賞	坂本龍馬之像	伊良林3丁目(風頭公園内)
1993 第5回 平成5年度	都市景観賞	(旧) 金子建設本社ビル	松山町9番18号
		湊公園	新地町7番
		県営大橋団地・市営若葉団地	大橋町、若葉町
	奨励賞	(旧) 復元唐船 飛帆	—
1994 第6回 平成6年度	奨励賞	長崎県立総合体育館	油木町7番1号
		長崎横尾郵便局	横尾1丁目17番12号
1995 第7回 平成7年度	都市景観賞	[大きな建物部門] 長崎電気ビル	城山町3番19号
		[歴史のある部門] 常岡歯科診療所	油屋町2番18号
		[テーマ部門: 歴史ロマン賞] 龍馬のぶーつ	伊良林2丁目5番
	奨励賞	[小さな建物部門] (旧) 林兼石油浦上給油所	松山町4番41号
1996 第8回 平成8年度	都市景観賞	[小さな建物部門] 三宅脳神経外科医院	若草町3番21号
		[歴史のある部門] 岩永梅寿軒	諏訪町7番1号
		[テーマ部門: 建築エコアップ賞] 賑町パーキングセンター	栄町5番5号
	奨励賞	[大きな建物部門] 長崎女子高等学校記念体育館	中小島2丁目
		[テーマ部門: 四季プロムナード賞] 文教通り	文教町、大橋町
1997 第9回 平成9年度	都市景観賞	[大きな建物部門] 長崎市科学館	油木町7番2号
		[歴史のある部門] 深堀の石堀群	深堀地区
		[歴史のある部門] 宝製網	小曾根町1番39号
	奨励賞	[小さな建物部門] 高野眼科医院	平野町10番3号
		[テーマ部門: ベイサイドシンボル賞] 三菱長崎造船所クレーン・ライトアップ	飽の浦町1番1号
1998 第10回 平成10年度	都市景観賞	[歴史のある部門] 福砂屋本店	船大工町3番1号
		[歴史のある部門] (旧) 児童養護施設マリア園	南山手町12番17号
	奨励賞	[大きな建物部門] ホテルモンテ長崎	大浦町1番22号
		[小さな建物部門] 岩永邸	小江原4丁目18番3号
		[小さな建物部門] 白髭内科医院	片淵1丁目35番18号
		[テーマ部門: 四季プロムナード賞] サントス通り	上野町、橋口町、岡町
		[テーマ部門: 自然賞] 善長谷教会とそこからの景色	大籠町善長
1999 第11回 平成11年度	都市景観賞	[小さな建物部門] 長崎平和記念教会	富士見町21番14号
		[歴史のある部門] (旧) 料亭 富貴樓	上西山町5番4号
	奨励賞	[テーマ部門: プロムナード賞] 崇福寺通り	鍛冶屋町、油屋町
2001 第12回 平成13年度	都市景観賞	[歴史のある部門] 小野原本店	築町3番23号
		[歴史のある部門] 長崎大学経済学部瓊林会館	片淵4丁目2番1号
		[テーマ部門: さかみち部門] どんどん坂	南山手町
	奨励賞	[大きな建物部門] 慰めの聖母カトリック城山教会	若草町6番5号
		[大きな建物部門] 九州電力新地変電所	新地町6番10号
2003 第13回 平成15年度	都市景観賞	[大きな建物部門] 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館	平和町7番8号
		[テーマ部門: 建築リニューアル賞] 長崎総合科学大学人間環境学部棟	宿町3番地1
		[テーマ部門: 街角ディスプレイ賞] 福砂屋松が枝店	松が枝町2番43号
	奨励賞	[大きな建物部門] 長崎ペンギン水族館	宿町3番地16
		[小さな建物部門] 八幡町公民館	八幡町3番9号

年度	種別	作品名	所在地
2005 第14回 平成17年度	都市景観賞	[大きな建物部門] 長崎県美術館	出島町2番1号
		[小さな建物部門] ビストロ・ピエ・ド・ポー	鍛冶屋町4番17号
		[歴史のある部門] (旧) 増田邸	片淵2丁目18番18号
	奨励賞	[大きな建物部門] 斜行エレベーター	上田町、相生町
		[テーマ部門: 動く風景賞] 超低床電車	—
		[テーマ部門: 赤煉瓦塀のあるプロムナード賞] 三菱通り	飽の浦町1番1号
2007 第15回 平成19年度	都市景観賞	[大きな建物部門] 親和銀行大波止支店	五島町4番16号
		[小さな建物部門] BAR 猪ノ口屋	栄町4番11号
		[歴史のある部門] 文明堂総本店	江戸町1番1号
		[テーマ部門: 鐘音が響き渡る石垣の続くまちなみ賞] 寺町通り	寺町
2009 第16回 平成21年度	都市景観賞	[大きな建物部門] 長崎市立図書館	興善町1番1号
		[小さな建物部門] 長崎大学医学部良順会館	坂本1丁目12番4号
		[歴史のある部門] 料亭 一カ	諏訪町8番20号
		[テーマ部門: 四季折々の表情が美しい田園景観賞] 大中尾棚田	神浦下大中尾町
	奨励賞	[大きな建物部門] カトリック西町教会	音無町9番34号
2011 第17回 平成23年度	都市景観賞	[大きな建物部門] 長崎港松が枝国際ターミナルビル	松が枝町7番16号
		[歴史のある部門] 三菱重工業長崎造船所史料館	飽の浦町1番1号
		[テーマ部門: 伝統ある植木業が創り上げた文化的景観賞] 古賀植木の里	松原町
	奨励賞	[小さな建物部門] 文明堂総本店浜町店	浜町8番27号
		[歴史のある部門] 陶々亭	十人町9番4号
		[テーマ部門: 地域の誇りは四季の花に囲まれた風景賞] 琴海戸根川と桜	琴海戸根町
2013 第18回 平成25年度	都市景観賞	[大きな建物部門] ANA テレマート長崎支店	神ノ島町1丁目331番90号
		[歴史のある部門] 占勝閣	飽の浦町1番1号
		[歴史のある部門] 料亭 青柳	丸山町7番21号
		[テーマ部門: 市民の憩う水辺の公園賞] 長崎水辺の森公園	常盤町
	奨励賞	[歴史のある部門] 吉宗本店	浜町8番9号
		[テーマ部門: 長崎の海を見守りつづける賞] 海の上に立つマリア像と神ノ島教会	神ノ島町2丁目148番
2015 第19回 平成27年度	都市景観賞	[大きな建物部門] ガーデンテラス長崎ホテル&リゾート	秋月町2番3号
		[小さな建物部門] 野島歯科醫院	古川町6番27号
		[歴史のある部門] 鎮西大社 諏訪神社	上西山町18番15号
		[公共施設部門] 女神大橋	木鉢町から戸町
		[野外広告物部門] つりがね堂薬局サイン	新地町11番11号
	[テーマ部門: 歴史を語り続ける賞] 浦上天主堂再現プロジェクト	本尾町1番79号	
	奨励賞	[屋外広告物部門] コクラヤネオンアーチサイン	万屋町1番26号
[野外広告物部門] 中の家旗店サイン		鍛冶屋町1番11号	
		[テーマ部門: 官民協働によるまちづくり賞] ししとき川通り	古川町から鍛冶屋町
2017 第20回 平成29年度	都市景観賞	[大きな建物部門] 済生會長崎病院	片淵2丁目5番1号
		[小さな建物部門] あたご保育園	愛宕4丁目19番11号
		[歴史のある部門] カトリック黒崎教会	上黒崎町26番
		[夜間景観部門: 第20回記念] 十八銀行本店	銅座町1番11号
	奨励賞	[屋外広告物部門] 梅月堂本店	浜町7番3号
		[屋外広告物部門] 松翁軒観光通り店	万屋町5番6号
		[夜間景観部門: 第20回記念] 稲佐山電波塔	稲佐町364番地ほか
		[テーマ部門: 公共交通のデザイン賞] 長崎電気軌道310号「みなと」	大橋町4番5号
		[テーマ部門: 地域連携のまちづくり賞] 伊良林1丁目の路地	伊良林1丁目
2019 第21回 令和元年度	都市景観賞	[大きな建物部門] Nagasaki Job Port	田中町575番2号
		[歴史のある部門] 若宮稲荷神社	伊良林2丁目
		[公共施設部門] 出島表門橋・出島表門橋公園	出島町6番1号・江戸町8番1号ほか
		[テーマ部門: グッドリノベーション賞] HafH Nagasaki SAI	古川町5番21号
		[テーマ部門: 長崎の歴史をつなぐ賞] 風頭公園石切り場	伊良林3丁目
	奨励賞	[小さな建物部門] ごはん CAFE 長崎茶寮川徳	田中町280番15号
		[歴史のある部門] 長崎銀行本店	栄町3番14号
		[公共施設部門] 鍋冠山公園展望台	出雲2丁目
		[屋外広告物部門] 長崎の猫雑貨	栄町6番7号
		[屋外広告物部門] 田中旭榮堂	上町3番6号
		[テーマ部門: 街の顔となる街路樹賞] 市民会館横のいちよう並木道	桶屋町ほか







長崎市都市景観賞は、自然環境を活かし、歴史的な文化遺産を継承しながら、人間のふれあいのある都市、洗練されたまちづくりに寄与する建築物などに贈られる賞です。

このトロフィーのフォルムは「炎」であり、都市景観賞が、私たちの愛する長崎の文化を守り育てるための「灯り」となることを願ったものです。また、ガラスに封印されたコバルトブルーは、大航海時代から続いている「開港都市としての長崎」を象徴する海の色を表現しています。



長崎市都市景観賞 Symbolmark

3個の楕円は「海」と「まち」と「空」。自然と人間の営みがそれぞれに呼応しながら、長崎市の都市景観が未来へ向けて広がり高まっていくさまを、シンプルなフォルムで表現しています。

[表彰実行委員会]

委員長

田上 富久 | 長崎市長 |

副委員長

山口 雅二 | 長崎商工会議所 副会頭 |

委員

川島 邦元 | 一般社団法人 長崎県建設業協会長崎支部 支部長 |

田中 健一郎 | 公益社団法人 日本建築家協会九州支部長崎地域会 会長 |

沼野 良成 | 西部ガス長崎株式会社 代表取締役社長 |

中野 善弘 | 一般社団法人 長崎県建築士会長崎支部 支部長 |

谷村 正夫 | 長崎市管工業協同組合 代表理事 |

小林 純一 | 長崎電気工業協同組合 理事長 |

安部 清美 | 一般社団法人 長崎県測量設計コンサルタンツ協会 会長 |

有馬 一郎 | 一般社団法人 長崎県建築士事務所協会 副支部長 |

山口 克彦 | 公益社団法人 長崎県宅地建物取引業協会 理事 |

青木 由孝 | 長崎県屋外広告美術協同組合 副理事長 長崎支部長 |

谷川 喜一 | 長崎商工会議所 建設部会長 |

片江 伸一郎 | 長崎市 まちづくり部長 |

監事

松永 安市 | 長崎商工会議所 専務理事 |

田中 亮司 | 長崎商工会議所青年部 会長 |

長崎市

長崎商工会議所青年部

一般社団法人 長崎県建設業協会長崎支部

公益社団法人 日本建築家協会九州支部長崎地域会

西部ガス長崎 株式会社

一般社団法人 長崎県建築士会長崎支部

長崎市管工業協同組合

長崎電気工業協同組合

一般社団法人 長崎県測量設計コンサルタンツ協会

一般社団法人 長崎県建築士事務所協会長崎支部

公益社団法人 長崎県宅地建物取引業協会長崎支部

長崎県屋外広告美術協同組合

[協賛]

(株) エス・ピー・シー

(株) 長崎銀行

(有) 田島建設

(株) ライト建築設計事務所

(株) 長崎土建工業所

(株) ヘック

(株) メモリード

(株) 宮本建築設計事務所

(株) 建友社設計

(株) 霜田塗料産業

長崎自動車 (株)

長崎電気軌道 (株)

(一社) 日本塗装工業会長崎県支部

鎮西大社 諏訪神社

(有) ワイズ

(有) 藤勝苑

(株) 三基

(株) 谷川建設

(有) 勇進建設

TOTO (株) 長崎営業所

久保工業 (株)

武藤建設株式会社

(株) 西海建設

(株) 梅月堂

(有) 川徳 ごはん CAFE 長崎茶寮川徳

[後援]

NHK 長崎放送局

NBC 長崎放送

KTN テレビ長崎

NCC 長崎文化放送

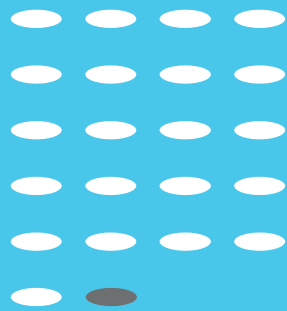
NIB 長崎国際テレビ

NCM 長崎ケーブルメディア

エフエム長崎

長崎新聞社

ながさきプレス



長崎市都市景観賞表彰実行委員会